

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

## 事業名 岐阜県農業フェスティバル開催費負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 地産地消係 電話番号：058-272-1111 (内 2854)

E-mail：[c11444@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11444@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 12,700 千円 (前年度予算額：19,000 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	19,000	0	0	0	0	0	0	0	19,000
要求額	12,700	0	0	0	0	0	0	0	12,700
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県農業フェスティバル実行委員会が行う、第34回岐阜県農業フェスティバルの開催に伴う経費の一部負担を行う。

### (2) 事業内容

#### 【岐阜県農業フェスティバル】

- ・開催趣旨：岐阜県の農業のPR、県産農産物や加工食品の消費拡大等を通じた本県農業の一層の活性化を目的として、県、市町村、農業関係団体、食品産業団体などとの連携により開催。
- ・主 催：岐阜県農業フェスティバル実行委員会  
(構成団体：岐阜県、JA岐阜中央会他県農業関係団体等)
- ・開催時期：令和3年10月23日(土)、24日(日)
- ・開催場所：OKBぎふ清流アリーナ及びその周辺
- ・開催実績：来場者数 183,000人(R元)、販売額 54,360千円(R元)

### (3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県農業フェスティバルは、毎年18万人前後が来場する県内最大級の食と農のイベントである。県は実行委員会の構成員であり、本県農業のPR、地産地消の推進として、開催に係る経費の県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

なし

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	12,700	岐阜県農業フェスティバル実行委員会への負担金
合計	12,700	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

### (2) 後年度の財政負担

岐阜県農業フェスティバルは、毎年18万人前後が来場する県内最大級の食と農のイベントである。県は実行委員会の構成員であり、本県農業のPR、地産地消の推進として、継続的な開催支援が必要である。

# 事業評価調査（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県の農業の現状と将来方向を広く県民にPRするとともに、県産農畜水産物や加工品の消費拡大等を通して、本県農業の一層の活性化を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績） ※H29は台風のため中止

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
来場者数(人)	0 (S60)	178,000 (H28)	176,000 (H30)	183,000 (R元)	180,000 (※)	101.7%
販売金額(千円)	0 (S60)	68,400 (H28)	58,830 (H30)	54,370 (R元)	67,000 (※)	81.1%

※直近開催7中5回の来場者数及び販売額の平均値

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

第33回岐阜県農業フェスティバル

【開催内容】

- 開催時期：令和元年10月26日(土)、27日(日)
- 開催会場：OKBぎふ清流アリーナ及びその周辺
- 催事内容
  - ・ひだみの特産品コーナー（県産農産物・農産加工品の販売）  
（県産農産物を使った料理）
  - ・県産農産物や試験研究成果、JA等関係団体の紹介
  - ・畜産ひろば、水産PRコーナー（動物等とのふれあい）
  - ・スマート農業、世界農業遺産マルシェ、ぎふ野菜ファーストほか

### （前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

多くの来場者に対し、県農産物の販売やPRを行うことで、本県農業のPRにつながった。

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年18万人前後の来場者があり、食と農に関する県内最大級のイベントとして定着している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの県民に県施策、県農業を知っていただく、絶好の機会となっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価) ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会形式を取り、共催団体及び出展団体に費用負担をお願いしている。</li> <li>・所要経費（開催経費）の大枠を占める会場設営費のうち、会場設営業務及び警備業務に一般競争入札方式を採用し、経費の削減、効率化を図っている。</li> </ul>

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> <li>・県庁舎建て替えに伴い、会場レイアウトの変更、周辺の警備強化や来場車輛の混雑回避が必要となる。</li> <li>・近年の異常気象の影響を受け、保険料が高騰している。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> <li>・本フェスティバルの継続開催を望む声は多く、県民ニーズ、事業効果の点から継続すべきである。</li> <li>・より多くの県民に県の施策や県農業を知っていただけるよう、会場の安全性の確保や来場者の利便性向上等に取り組む。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	